

地域で「菓のコンシェルジュ」を育てます」。沢ではなくて富山で成長決して薬剤師や医者者を育てたのか」

てるわけではない。かつて配置薬が盛んで「菓都」とも呼ばれる富山県。地域の特色である「くすり」を語る観光ガイド育成

## わき出す地域パワー

のため、富山市で5年前に始まったのが菓のコンシェルジュ講座だ。県の助成も受け、観光促進活動をする特定非営利活動法人（NPO法人）富山観光創造会議が主催する。

「北陸で最大手の地方

置菓の売菓さんは、売上げを地域ごとに異なる手形で持って帰って来た。そこで県内では換金など為替システムが不可欠になった」。金融発達を促したのは、「くすり」だったというわけだ。

石尾部会長は自身も週

未などにガイドをこなす。光客に富山の歴史を語る

座は富山の観光のポイント

トと歴史・菓を学ぶ勉強会に加え、市内観光のモデルコースを実際に回る

2011年4月から講

富山観光創造会議は官

民の有志が始めた勉強会

## 「くすりの語り部」育成

意外と地元

の菓の歴史

について知

幹線の開業に向け動きが

らないので

活発になってきた。

金沢市での姉妹NPO

と考える市民も多いとい

法人の設立を呼びかけ、

11年10月には金沢観光創

造会議が誕生。広域観光

での連携に乗り出す。石

尾部会長は「新幹線が開

通すると、富山で降りず

に金沢を拠点に観光する

人が多くなる」と予想。

「金沢から富山を訪れ、

1泊してもらえようとい

信を持って菓都をアピ

ルしたい」と語る。

様々なテーマごとに地

域の魅力をアピールする

同講座には毎回10〜20人

が参加している。

「まちの駅」作りも進め

（富山支局 湯沢維久）

## 富山市



菓都を発信する池田屋安兵衛商店前には観光バスが毎日のように止まっている

実践研修が主な内容。勉強会は、観光客の関心をひく「くすりの話」が提供できるよう、月1回開

いては、

実践研修では同NPOが提案している観光コースを回る。スタート地点は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

実地研修では同NPO

が提案している観光コースを回る。スタート地点

は富山市内の和漢菓販売の老舗、池田屋安兵衛商店。同商店では和菓を作

る体験ができ、年間10万人の観光客が訪れる「菓都」発信の拠点となっている。

日経MJ

2011年（平成23年）

11月28日（月曜日）